

次期教育ビジョン(仮称)の策定に向けた生徒との意見交換について

1. 目的及び背景

教育委員会では、次期教育ビジョン(仮称)の策定に向けて、三鷹教育・子育て研究所に設置した「三鷹のこれからの教育を考える研究会」での検討(令和3年8月最終報告)を経て、各 CS 委員会や PTA 連合会等での説明・意見交換を行いました。令和3年11月には、教育委員会として「当面の教育施策の推進に関する基本的な考え方」を策定し、次期教育ビジョン(仮称)について、「最終報告」を踏まえつつ、第5次三鷹市基本計画及び次期の教育に関する大綱と整合を図りながら、関係者、市民等との幅広い議論を行いながら検討を進めることとしました。

令和4年度には、全学園における教員との熟議、教員による政策提言ワークショップ(全6回、令和5年2月発表会)を実施し、教員の意見について集約を図ってきました。

令和5年度においては、児童・生徒の意見を聴くため、各学園の代表として中学生との意見交換を行うこととし、7月及び8月に各学園において実施しました。

<日時・会場等>

- 7月3日(月) 午後4時～午後5時15分 連雀学園(第一中学校)
- 7月4日(火) 午後3時45分～午後5時 おおさわ学園(第七中学校)
- 7月11日(火) 午後4時～午後5時15分 鷹南学園(第五中学校)
- 7月12日(水) 午後3時～午後4時15分 東三鷹学園(第六中学校)
- 7月13日(木) 午後3時45分～午後5時 三鷹中央学園(第四中学校)
- 7月19日(水) 午後3時～午後4時15分 にしみたか学園(第二中学校)
- 8月29日(火) 午後3時～午後4時15分 三鷹の森学園(第三中学校)

2. 意見交換のテーマ

- 1-1. 何のために学校で学ぶのか。
- 1-2. どんな力を学校で身に付けたいか。
- 2-1. 学校でどんな風に学びたいか。
- 2-2. 学校がどんな場所であったらよいか。

3. 主な意見

1-1. 何のために学校で学ぶのか。

<自らの人生を豊かにするため>

- ・自分の人生を豊かなもの、充実したものにするため。
- ・自分の目指す人間になるため。目標がないと、行動しにくい。

- ・自分の可能性を広げるため。自分の将来の進路の選択肢を広げるため。
- ・将来働くための基礎を身に付けるため。
- ・自分のやりたい仕事に就いたり、行きたい高校に進学したりするため。将来の夢を叶えるため。
- ・生きるため。最低限の生活、安定した生活を送るため。
- ・社会に出たときに苦労せず、通用するようになるため。

<より良い社会をつくっていくため>

- ・未来を自分たちが作っていけるようにするため。未来の課題を解決するための基礎を学ぶため。過去の出来事を学び、未来の課題に備えるため。
- ・社会の問題と向き合う(社会問題・人間関係等)。学校で他者と向き合い様々な経験をすること、みんなで考えることで社会と向きあえる。
- ・日本経済の発展、日本や世界の文化を知るため。

<自らを成長させるため>

- ・自分を成長させるため(学力的にも人間的にも)。
- ・様々な人と触れ合い、多様な考え方を知り、自らとの違いを発見したり、刺激を受け、成長したりするため。
- ・視野を広げるため。
- ・自分のこと、自分の考え方や個性について知るため。
- ・変動を予測できない社会に対応していけるようになるため。

<社会に出て必要となる資質・能力を身に付けるため>

- ・コミュニケーション能力や社会性・社交性を高めたり、人間関係の難しさや大切さを学び、うまく人間関係を築けるようになったりするため。
- ・他者への気遣いや、困っている人へ手を差し伸べることができるようになるため。
- ・互いに認め成長したり、他者の意見を尊重したり、合わない人との関わり方を学んだりするため。
- ・将来必要な基礎学力を身に付けるため。高校への進学や、充実した高校生活を送るため。また、社会に出た時に困らないように。
- ・問題の解法だけでなく、解法につながる物事の本質や根本を学ぶため。
- ・思考力・判断力・表現力を身に付けるため。
- ・知らないことを学習する力。学んだことを生かして、社会に出ても勉強する力。
- ・課題を解決する力を養うため。ゼロから1を生み出す力をつけるため。AIやロボットではなく人間にしかできないことをできるようにするため。
- ・自ら考える力を身に付けたり、主体的、自主的に行動できるようになったりするため。
- ・社会の現状を理解したり、正しい知識に基づいて社会で起きている事象を分析したりできるようになるため。

- ・デジタル技術の進歩に対応した正しい使い方、モラル、情報リテラシーを知っておくため。

<集団生活で学ぶため>

- ・学校での集団生活を通じて社会生活に慣れるため(一人で勉強なら家でできる。学校は小さな社会。学校で練習して身に付けたい)。
- ・集団での振る舞い方を知るため。学校・学年・班などの単位で、リーダーになるのかついていくのか。リーダーになる機会は学校以外では少ない。責任感を身に付けるため。
- ・一般常識、礼儀やマナー、生活習慣を身に付けるため。
- ・集団生活での規則・規律を知るため。提出物の期限を守るなど。
- ・モノの大切さを学ぶため。学校は自分のモノだけではないので。
- ・時間の大切さやタイムマネジメント、締切を守ることを学ぶため。

<実際に体験するため>

- ・体育や理科の実験など実際に体験しなければできないことをするため。動画などよりも実際に行う方が身に付きやすい。
- ・先生がいて、直接教わり、わからないところを聞くことができる(知識の伝達だけであれば動画でよい)。

<その他>

- ・友達がいるから。友達がいるから休み時間が楽しい。青春。
- ・興味がないことも学ぶきっかけになる。一つ一つの学習に面白さを見つけ出すため。

1-2. どんな力を学校で身に付けたいか。

- ・(基礎)学力。語彙力。文章力。計算力。基礎的な知識・技能。一般教養。知らないことを学習する力。好奇心・探究心を深める力。
- ・自ら考えて判断し、行動する力。決断力。課題解決能力(仲間と一緒に)。自分で課題を見つける力。見つけた課題を解決する力。団結して1つのものを作り上げる力。計画を立てる力。先のことを見据えられる力。積極性。リーダーシップ。行動力。
- ・目標に向けて努力する力。目標達成しようとする姿勢。最後まであきらめずに挑む力。継続する力。嫌なことや苦手なことでも頑張る力。自分のミスから成功につなげる力。真面目さ。
- ・想像力。創造力。企画力。発想力。新しいことを考える力。柔軟・多角的・多面的な思考力。多角的な視点。本質を見抜く力。
- ・メタ認知。メタ的視点。自分の欠点を直す力。
- ・コミュニケーション能力。協調性。多様な他者と関わる力(得意じゃない人とも関

わる)。協働する力。人の話を聞く力。相手の気持ちを理解する力。他者を認める、他者と認め合う、尊重し合う力。相手の考えを自分に取り入れる力。伝える力。表現力。話術。人前で話す力。周りを見る力。思いやる力。

- ・自分の意見を持つ力、発信する力(他者の意見を尊重しながらも、流されず、自分の意見を押し付けるでもない)。
- ・感情をコントロールする力。
- ・健康維持するために運動する力。
- ・挨拶。礼儀作法。常識。ルール。マナー。モラル。言葉づかい。期日や時間を守る力。
- ・自分の未来について選択する力。夢を叶える力。
- ・情報リテラシー。情報整理力。インターネットを適切に活用する力(情報の正しさを見抜く判断力)。デジタル機器を活用する力。新しい技術を使いこなす活用力。
- ・変動が予測困難な社会に対応する力。臨機応変に対応する力。生きる力。生き抜く力。楽しむ力。人間力。外交力。剛毅朴訥な力。

2-1. 学校でどんな風に学びたいか。

学び方・授業の形式

- ・一人ひとりの考える機会が多い授業。自分で考える力を身につける授業(例えば、調べ学習を多くする)。
- ・自分の言葉で意見をたくさん言える。発言しやすい雰囲気。参加できる授業。
- ・友達や先生の考えがたくさん聞ける。自分と考えが異なる人など、いろいろな人と意見交換する。いろんな意見を聞いて学びを深め合う。討論をたくさんしたい。
- ・生徒同士が助け合ったり、アドバイスし合ったりしながら学ぶ。一緒に学ぶ。誰かが置いていかれることのないように協力しながら学ぶ。
- ・生徒が授業をする。教え合う。
- ・実際に体験しながら理解を深める(理科の実験や体育のように)。教科書を読んでいるより印象に残ったり、わかりやすかったりする。五感を使って勉強を楽しむように。
- ・言葉や文章だけでなく、画像や実物を使ったイメージしやすい授業。
- ・将来のことや社会、日常生活とつながる、意味を感じられる学び。その方が楽しく学べ、意欲が湧く。
- ・班活動やグループワークを増やす。
- ・自分で課題を見つけ、解決することを身に付けられる授業。自主的・積極的に学ぶ授業。答えを出すことが難しい大きな問いをみんなで考える授業。
- ・なぜそうなるのか、本質を理解できる授業。
- ・単一の教科書からだけではなく、様々な資料(複数の情報源)を比較、分析しながら学びたい。

- ・単元内自由進度学習が楽しいので、増やしてほしい。
- ・1 週間に 1 時間の自習する時間。
- ・授業内に休憩(2分程度)があるとよい。気を抜ける瞬間があつてよい。

学ぶ内容

- ・自分の得意を伸ばし不得意を認める。得意を評価して欲しい。苦手をサポートして欲しい。
- ・自分の興味・関心や進路に関係のあることを専門的に学びたい。気になったこと、興味を持ったことを、自由に調べられる機会がたくさん設けられている授業(例えば、レポートを作成する授業)。
- ・いろいろな文化を知れたり、触れられたりする。多言語を学びたい。

クラスの雰囲気

- ・明るく楽しい雰囲気。元気に。楽しみながら学びたい。
- ・先生・生徒間で会話(コミュニケーション)がある。
- ・友達が隣にいて、いつでも話しかけられる空間で学びたい。
- ・集中できる環境で学びたい。

その他

- ・自分のレベルにあったクラスで学びたい。
- ・目標を持った仲間と高め合いながら学びたい。
- ・個性を尊重できる学び。
- ・わからないところを深掘りしたい。能動的に気軽に質問ができるとよい。
- ・体をもっと動かしたい。朝、運動してから学ぶ。
- ・道徳で自分の好きを語りたい。
- ・パソコンを使える機会を設けてほしい。
- ・AI や情報機器、インターネットを活用したり、その使い方を学んだりする授業。
- ・マナーを身につけるための職場体験
- ・たて割り班で学年間も仲良くなりたい。

2-2. 学校がどんな場所であつたらよいか。

学校の雰囲気、文化、風土

- ・自分の個性を認めてもらえるような、いきいきと生活できる場所。みんなが輝けて楽しく学べる。ありのままでいられる。一人ひとりの個性が大切にされる。他の人との違いを認め合える場所。
- ・いろいろな人に関わり合え、みんなが成長できる場所。団結したり、協力したりする場所。みんな仲良く高め合える。
- ・交流する場所。友達とたくさん関われたらいい。
- ・違う学年の人でも話しやすい学校。

- ・卒業してもまたきたいと思う場所。先輩が遊びに来てくれると後輩もうれしい。
- ・皆仲良い(高め合える)
- ・進んで行きたくなる。毎日行きたくなる。全員が楽しく明るく過ごせる場所。何か一つだけでも、行きたくなることがあるといい。月曜日でも行きたいと思える場所。
- ・精神的にも物理的にも安全で安心できる場所。安心して勉強できる環境(間違っても冷やかされたり、否定されたりしないなど)。みんなが行きたいと思う憩いの場。居場所(家にいたくないときもある)。
- ・いろいろな文化の人がいる学校。
- ・生徒が主体となる場所。生徒がつくる学校。

学校での学びに関すること

- ・遠慮せず、自分の意見をさらけ出して積極的に伝えたいと思える場所。失敗を恐れず挙手でき、発言できるところ。
- ・意見交流が多い場にしてほしい。
- ・メリハリのある学校。集中して1人の時間と、友達と意見交換をする時間もあるといい。
- ・学ぶ目標が明確に決まっているとよい。授業で達成すべきことが提示されていると良い。
- ・生徒が「学びたい！」と思える空間。
- ・苦手に興味を持てる第一歩につながる場所。
- ・学びを深められるところ。自分ではできないことも学べる場所。自分の好きを伸ばせるところ。
- ・一人ひとりの能力に合った学習ができる場所。
- ・人としての礼儀を学べる場所。

具体的な取組に関すること

- ・生徒の意見が反映されると、のびのび生活できる。
- ・先生に勉強の質問ができる工夫(質問タイムとか質問箱など)。先生が忙しそう。気軽に話したり、質問したりできる関係、空間。
- ・勉強について学年関係なく話し合える、相談できる場(先輩に聞いて教えてもらう場があってもよい)。
- ・悩みがあったらすぐ話せる場所(カウンセラーの方がいても、予約がいっぱい)。
- ・授業中に立ち歩くことができる。疲れていたらのびるなど。
- ・隣の人と机をくっつけて教え合いやすくする。
- ・部活の朝練をやりたい。

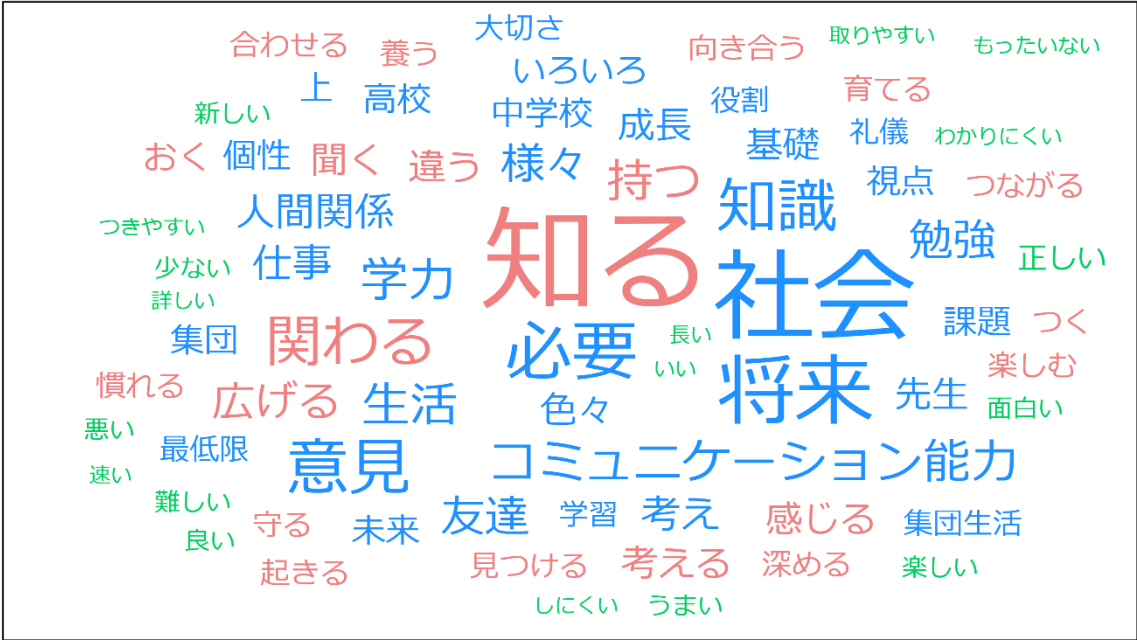
具体的な施設・設備に関すること

- ・気軽に先生に相談事が話せる場所があるとよい。

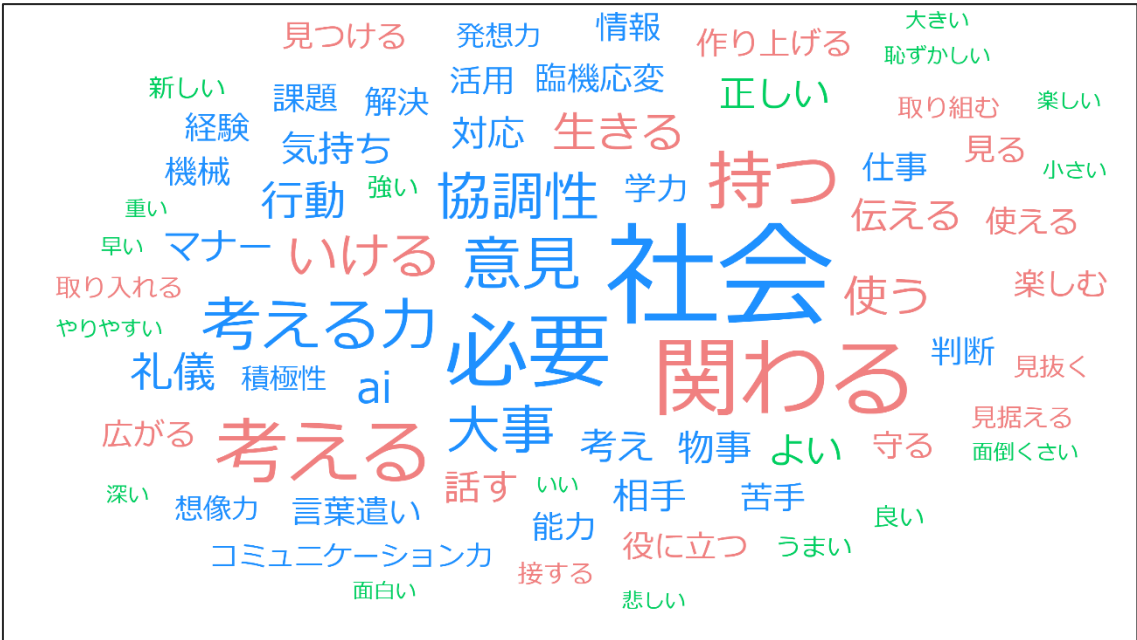
- ・気軽に勉強しに行ける場所(図書館など)があると、意欲がある時に行ける。
- ・きれいなトイレ。
- ・自然・生物と触れ合える環境(環境問題への興味などにつながる)。
- ・清潔感のある施設。
- ・全館空調。
- ・机がもっと大きいといい。机にライトや教科書スタンドがあるとよい。
- ・椅子をやわらかくしてほしい。
- ・Wi-Fi環境を良くしてほしい。
- ・本があふれている環境。
- ・外遊びがしやすい場所がほしい。
- ・体育館や校庭をもっと大きくしてほしい。
- ・学校の判断で改善ができるよう自体にもっとお金があるとよい。

【参考】ふせんへの記述を元にしたワーククラウド

1-1. 何のために学校で学ぶのか。



1-2. どんな力を学校で身に付けたいか。



意見 授業 考える 話し合う グループワーク 友達 先生 課題 実験 深い 面白い 多い 話す 増やす 違う 楽しい ほしい 学び 意見交換 聞ける 忙しい 難しい 速い 明るい つながる 外国人 新しい 視野 伸ばす 体験 考え 出さ 増やす わかる 学習 近い 深まる 忙しい 難しい 聞ける 答え つまらない

くれる 忙しい 社会
良い 認める 否定 話す 言いやすい 関わりやすい 話しにくい しがいない
生活 伸ばせる しやすい 考える 合える 居づらい
しゃべる 合う 安心 トイレ 机 関わる 思える すぎる
行きづらい 違う つながる 机 関わる 思える いろいろ
クラス よい 勉強 行く いい 学年 居場所
苦手 自由 楽しい 嫌 ほしい 意見 欲しい 気軽
雰囲気 数学 好き 不登校
大きい 生徒 先生 発言 空間 しまう 質問 個人
恐れる 教室 行ける 授業 話せる 交流 多い 教える 話しかけやすい
設ける 環境 成長 広い いじめ 椅子 出しやすい
少ない 柔らかい